

事前評価個表

整理番号	3
------	---

地域（地区）名	つがる 津軽	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	青森県	対象市町村	ひろさき 弘前市ほか 10 市町村
事業実施期間	R4 年度～R8 年度（5 年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地域は、青森県の西部に位置する弘前市ほか 10 市町村からなる総面積 33 万 5 千 ha の区域で、西端部は日本海に面している。森林面積は 212 千 ha（森林率 63%）で、対象民有林は 53 千 ha（森林全体の 25%）、うち人工林は 29 千 ha（人工林率 54%）となっている。</p> <p>人工林の齢級構成はⅩ齢級以上の割合が 72%であり、資源として十分成熟し、木材の利用拡大が重要となってきている。</p> <p>また、本地域内の林道延長は 393km で、公道等を含む林内路網密度 205m/ha となっており、このほかに林道の支派線として森林作業道が整備されている。</p> <p>本地域内の民有林人工林では、間伐等の整備の遅れから樹木の生育不良や林床植生の衰退による土壌流出が見られ、適正な保育・間伐を推進する必要があるが、高齢化や後継者不足による森林所有者の森林施業への意欲減退や、森林整備事業の担い手不足などにより、手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞ることが懸念されている。</p> <p>このため、森林の有する水源涵養機能や山地保全機能などの公益的機能の維持増進を図ることとし、津軽地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：3,890ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：12,277m</p> <p style="padding-left: 40px;">林道開設、改良</p> <p>総事業費：3,586,411 千円（税抜き 3,260,374 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 5.40$</p> <p>（総便益（B）=19,378,749 千円、総費用（C）=3,587,166 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：利用期を迎えている森林を多く有し、今後、主伐後の更新や適正な保育・間伐が求められる地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用対効果の分析結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：津軽地域森林計画に即した事業内容となっており、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により森林の有する公益的機能の発揮が図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

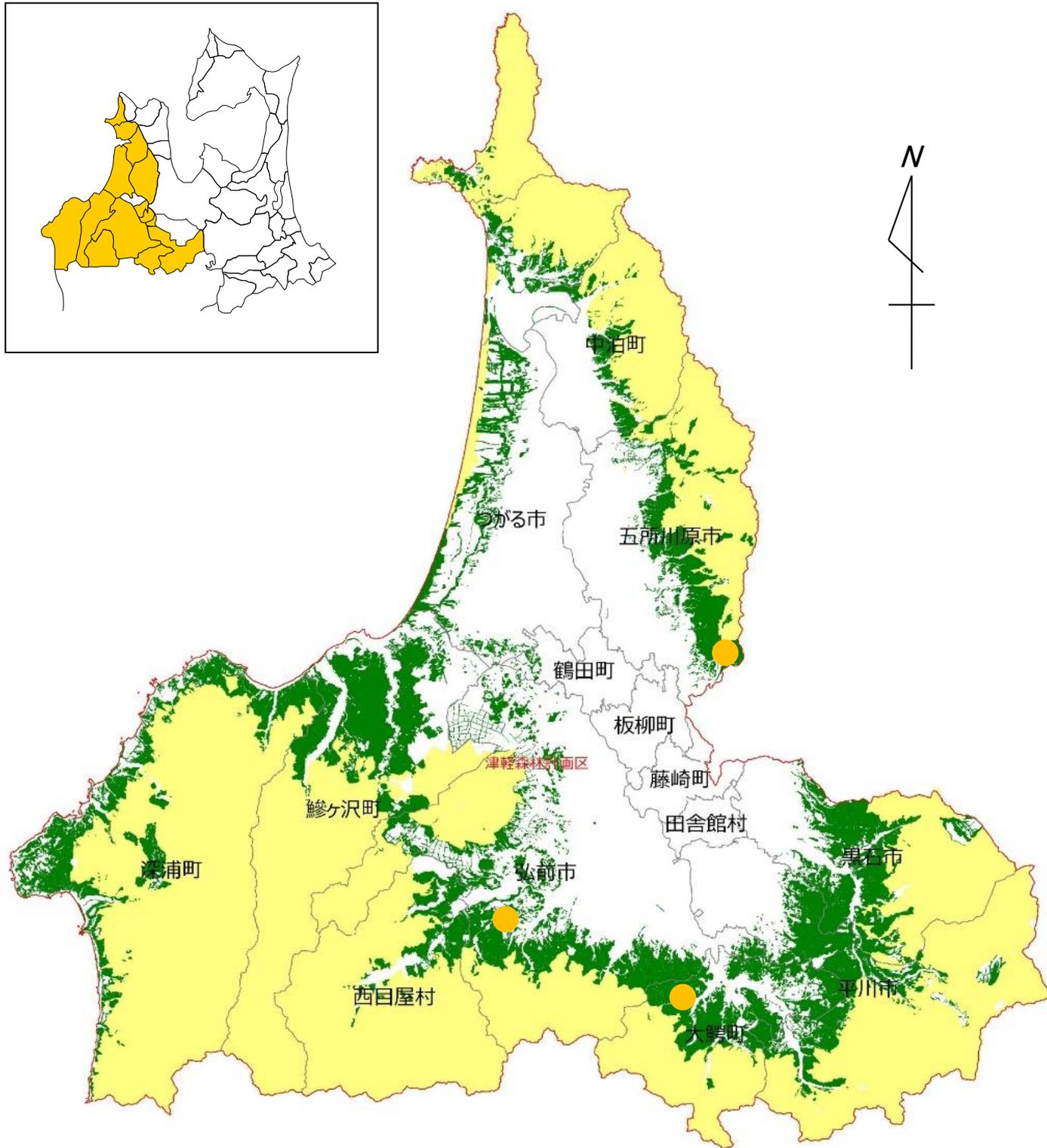
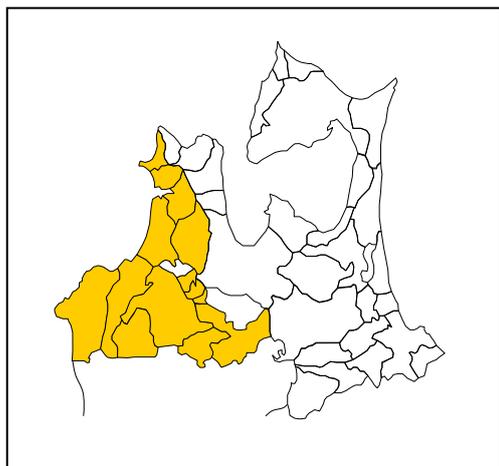
都道府県名：青森県

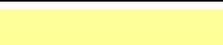
地域(地区)名：津軽^{つがる}

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,288,368	
	流域貯水便益	845,059	
	水質浄化便益	3,154,350	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,790,908	
環境保全便益	炭素固定便益	5,990,498	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	87,300	
	木材利用増進便益	41,882	
	木材生産確保・増進便益	2,073,019	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	781,878	
維持管理費縮減便益		325,487	
総 便 益 (B)		19,378,749	
総 費 用 (C)		3,587,166	
費用便益比	$B \div C = \frac{19,378,749}{3,587,166} = 5.40$		

森林環境保全整備事業 津軽流域(青森県)概要図



凡 例	
計画区域	
民有林(森林整備計画区域)	
国有林	
路網整備計画	